

## 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表について

### 1. 授業計画書（シラバス）の作成・公表に係る取組の概要

教育課程編成委員会の実施（年2回）

カリキュラム編成会議の実施（年2回以上）

上記2つの会議を踏まえて年間授業計画を確定し、シラバス作成を2月下旬から実施し、3月中旬にホームページ上に公表する

### 2. 授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要

- ・ 単位は、前期試験受験者・後期試験受験者に対して考査の上、与えられる。ただし、前期試験・後期試験は、科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は受けることができない。
- ・ 科目ごとに出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、補講への出席・課題の提出を行った上で追試験を受けることができる。ただし、補講は出席時数が授業時数の2分の1に達した者に実施する。
- ・ 前期試験・後期試験において著しく点数が低い者は、再試験を受けることができる。
- ・ 成績は、秀・優・良・可・不可に分け、秀・優・良・可を合格とし、不可を不合格とする。成績評価は、期末試験・授業期間中に実施するテスト・実習の成果・履修状況等を総合して判断する。
- ・ 合格者の成績評価割合は、成績最上位の10%程度を秀、30%程度を優、50%程度を良、10%程度を可とする。
- ・ 合格した授業科目については、所定の単位を取得したものとする。

### 3. GPAの設定・公表に係る取組の概要

- ・ 学期末に秀・優・良・可・不可の評価を行う。
- ・ 上記の評価に基づきGPAを算定する。

（算定方法）

① 1単位当たり秀：4.0、優：3.0、良：2.0、可：1.0、不可：0とする。

② 秀(4.0×取得単位数) + 優(3.0×取得単位数) + 良(2.0×取得単位数) + 可(1.0×取得単位数)  
= GPA換算数

③ GPA換算数 ÷ 総履修単位数（不可の履修単位数を含む）  
= 個人のGPA（小数点3位以下を四捨五入）

（実施時期）

前期（4月から9月）、後期（10月から3月）の2回実施し、3月末に年間GPAを学務システム上で算定する。

### 4. 卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要

#### （1）進級基準

2年制学科：1年から2年へ進級時46単位

(2) 卒業の認定方針

各学科とも、修業年限以上在籍し各学科所定の単位数を修得するとともに、以下の素養を身につけた学生に対して卒業を認定する。

ITビジネス学科		ソフトウェア開発の基礎技術や経理・事務に求められる商業実務に関する正しい知識と的確な技能
情報処理科		IT業界で求められるソフトウェアの開発技術に関する正しい知識と的確な技能
情報メディア学科		ソフトウェア開発の基礎技術やパソコンの活用技術に関する正しい知識と的確な技能
会計学科	会計士学科	民間企業での経理職や公認会計士として仕事をする上で必要となる会計およびビジネスに関する正しい知識と的確な技能
	税理士学科	民間企業での経理職や税理士として仕事をする上で必要となる会計およびビジネスに関する正しい知識と的確な技能
経理・情報研究学科	経理研究学科	公認会計士や税理士として仕事をする上で必要となる会計およびビジネスに関する正しい知識と的確な技能
	情報処理研究学科	IT業界で求められるソフトウェアの開発技術に関するより高度な情報技術

(3) 卒業単位

1年制学科：40単位

2年制学科：86単位

なお、教育課程に定められた必修科目については全て取得することを要する。

(4) 卒業判定会議を卒業年次の2月末に実施する。